

4月22日（月） 2024年度春季リーグ戦第3節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大公大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
大観大	0	0	0	0	0	4	0	3	X	7

大阪公立大学(3塁側)

対

奈良学園大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	山中	4	明星	5	0	0	
2	右	前田	2	須磨学園	5	1	0	
3	二	樋口	3	刈谷	4	1	0	
4	捕	中村	4	西京	2	0	0	
5	一	田中創	2	金沢桜丘	4	1	0	
6	左	根来	2	生野	3	0	0	
	打	荻沢	1	高岡	1	0	0	
7	三	石守	3	札幌開成	2	0	0	
8	遊	疋田	3	広島新庄	3	2	1	
9	指	寺本	2	鳥取西	4	1	0	
投		吉岡	2	明星	-	-	-	
		古谷	4	高島	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	4	1	1	2	33	6	1

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	立山	3	京都翔英	4	0	0	
2	二	京極	2	上宮	3	1	0	
3	指	中島陸	3	綾羽	4	1	1	
	走指	西山	4	奈良朱雀	0	0	0	
4	三	福島	2	立正大学沁南	2	0	0	
	走	藤末	1	京都翔英	0	0	0	
	三	金井	3	日本航空石川	1	1	1	
5	左	榎本	1	神戸国際大学附属	2	0	0	
	左	松田	2	明桜	1	0	0	
6	中	吉野	2	日本航空	4	2	2	
7	一	米田	3	京都翔英	3	0	0	
	一	林	3	東大阪大学柏原	1	0	0	
8	捕	宗根	3	汎愛	3	0	0	
9	遊	田中	3	立正大学沁南	3	3	3	
投		河上	3	大塚	-	-	-	
		伊藤	2	上宮	-	-	-	
		熊谷	1	大阪商業大学堺	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	1	1	0	2	31	8	7

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	5 1/3	77	21	21	3	2	0	4	0
古谷	2 2/3	52	13	10	5	2	1	3	1
合計	8	129	34	31	8	4	1	7	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
河上	7	86	27	24	5	5	2	1	1
伊藤	1	14	5	4	0	0	1	0	0
熊谷	1	21	6	5	1	0	1	0	0
合計	9	121	38	33	6	5	4	1	1

【戦評】

これ以上負けれない危機的状況を打開すべく、全員で全力で闘いに臨みました。

先制しようと燃える大公大は初回、一死から前田がライトへの安打を打ち、盛り上がりを見せます。その後二死となり中村が四球を選びますが、後が続きません。

2回表には四球と犠打で得点圏にランナーを置きますが、またも後が続きません。

先発の吉岡は、テンポ良い投球で1・2回を三者凡退で抑え、最高の立ち上がりを見せます。

少しでも早く得点が欲しい打線ですが、3・4回は淡々と三者凡退に抑えられ、5回表には一死から疋田が安打を打ちますが、次の併殺打により3人で攻撃を終えてしまいます。一方の守備では、3回表、二死から安打を許すも次打者から三振を奪いチャンスを広げさせず、4・5回は相手をしっかり打ち取って三者凡退とします。

後半戦に入り、そろそろ得点したいところ。6回表は、二死から樋口が初球を捉え安打となります。しかしここも後が絶たれ、我慢の時間が続きます。試合が大きく動いたのは6回裏、吉岡は一死から安打を放たれると、次打者が味方の失策により出塁となり、さらに安打を放たれて満塁のピンチとなります。なんとか失点を防ぎたいところ、攻めた守備が失策に繋がり、2点を先制されます。ここで投手は古谷に代わります。古谷は、二三塁の状態から四球を許したも満塁となると、続く打者の犠飛と安打によりさらに2点を追加されます。

一刻も早く点を取り返したい7回表、先頭の田中創がレフト線への二塁打を打ち、すぐに反撃に動きます。その後二死に追い込まれますが、疋田の適時打により1点を返し、望みを繋ぎます。

8回には二死から相手の失策と四球でチャンスを作るも、点差を縮めることができません。

7回裏は、二死から9番打者に本日3本目の安打を放たれるも、中村が盗塁を阻止し隙を与えません。

しかし8回裏、先頭打者が味方の失策で出塁すると、犠打と内野安打により一三塁とされます。踏ん張りたいところですが、続く打者に際どく内野を抜ける安打を許し、1点を追加されます。尚も一三塁で、一塁走者が盗塁を決め、直後の暴投によりさらに1点を追加されます。その後二死に追い込みますが、次打者に初球を捉えられ適時打となり、さらに1点を奪われ点差を広げられます。

最終回、このまま終わるわけにはいかない打線は、一死から四球と相手の失策により一二塁とすると、続く寺本の安打で満塁の大チャンスとなります。しかし反撃叶わず、最後はピッチャーゴロで試合終了。1－7で敗戦いたしました。